令和８年度　第２回（第 27 回）　鎌倉市市民活動推進委員会　議事録概要版

■　日時　　令和８年（2026 年）９月 30 日（水）　18：00～19：50
■　場所　　鎌倉市役所本庁舎　講堂
■　出席委員　中島委員長、土屋副委員長、水澤委員、山口委員、伊藤委員、東樹委員、中井委員、曽根委員、大津委員（以上委員９名出席）
■　事務局　　市民防災部地域のつながり課　次長兼課長　瀧澤、係長　下田、職員　奈木
■　傍聴者　　なし

【１　議題】

（１）つながる鎌倉エール事業　審査選考基準の見直し
※鎌倉市市民活動推進委員会規則第４条に基づき、非公開とします。

（２）市民活動に参加するためのきっかけづくり（指針具体的施策（４）ア）
事務局から市民活動に参加するためのきっかけづくり（資料２）について説明。

結論

事務局案のとおりとする。
（※現時点では若者コース新設は検討せず、まずはボランティア等の体験や広報に取り組む。）

主な意見

「若者コース」について

・スタートアップコースではなく地域活性化コースに枠を設けたほうが良いのでは。
・団体構成員の中の若者の割合についても検討したほうがいい。全員若者である必要はない。
・既存のコースの趣旨がぶれないよう、新しいコースを新設したほうがいいのでは。
・団体の立ち上げ段階を支援するような仕組みはどうか。
・他市や民間の助成金における若者コースの活用状況も踏まえ検討すべき。

「市民活動体験」について

・今回議論している対象については、補助金による支援より、まずはボランティアとして参加する仕組みづくりの方が効果的であると思わる。
・複数団体の取組を紹介出来る場を設け、そこに市民活動に興味がある方（若者含め）が集まり、興味のある活動を体験する、というようなマッチングの取組が出来ると良い。
・ボランティアや体験募集をする際は、団体が必要としている具体的な作業内容を明示すると参加者もイメージがしやすく応募につながるのでは。

（３）協働事業の評価・検証（指針具体的施策（７）エ）
事務局から協働事業の評価・検証（資料３）について説明。

結論

事務局案のとおりとする。

【２　報告・調整事項】

（１）令和８年度つながる鎌倉エール事業　採択事業一覧

事務局から説明、意見なし。

【３　その他】

つながる鎌倉エール事業令和８年度実施事業の進捗について、大津委員が各団体に聞き取られた内容を報告。

以上